

国際協力機構 東ティモール国立大学工学部能力向上プロジェクトフェーズ2

派遣先:東ティモール民主共和国 東ティモール大学
 派遣期間:平成 29 年 11 月 28 日(火)~12 月 7 日(木)
 技術職員:1 名

活動内容:

1. CNC 旋盤プログラム作成, 操作方法等指導
2. プレス切断機の不具合確認



倣い加工に使用する工具を CNC 旋盤の刃物台にセッティングしている様子。



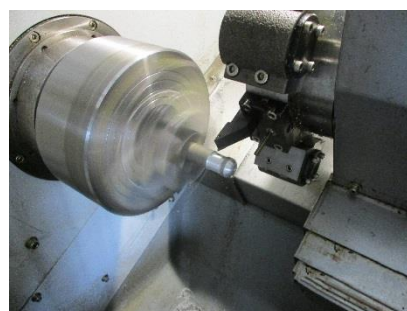
8 月の指導後, CNC 旋盤の工作実習を担当し実施している。写真は, CNC 旋盤工作実習での製作品。



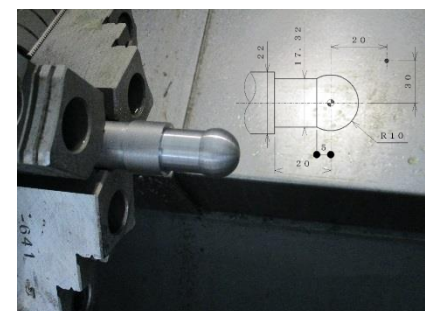
本学を修了した教官 2 名と, 6 月に本学で技術研修を受講した技官 2 名で本研修をスタートした。



CNC 旋盤の NC プログラム編集。この後, 工具位置設定, 工具データ入力等を行い, 加工へと進む。



NC プログラム入力後, 実機で 1 回目の加工を行っている様子。削り残しのミスが見受けられる。



CNC 旋盤による軸付球体の完成品。教官の研究用部品として大量生産する予定である。



調査の依頼があったプレス切断機の不具合について, 現地の教官と共に確認している様子。



機械工場内の様子。奥の方では, 機械工作実習が行われている。



機械工作実習に熱心に取り組んでいる現地学生の皆さん。

今回の派遣は, 8 月に専門家が行った内容の補足と新たに確認された活動リクエストについての指導を目的とし, 6 月に本学で研修を行った 2 人の技官(ナザリオ氏, ノビアーノ氏)と本学を修了した 2 人の教官を中心に行った。およそ 5 年ぶりの訪問となった東ティモール国立大学工学部では, 機械工作実習が行われる環境がまた一步, 着実に整備されているのが見て取れた。今回の派遣業務により, 機械工作工場を管理する技官のさらなるレベルアップにつながり, 教官の研究・実験に役立てられる加工品の製作が可能であることを実感して頂けたはずである。

